

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

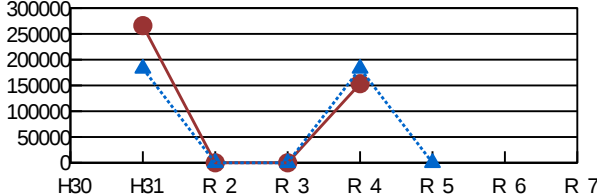
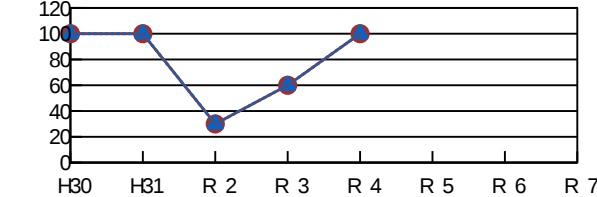
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の振興		電話番号	087-839-2636
	基本事業	国際的な発信力を持つイベントの推進		事業実施主体	市
	事務事業	瀬戸内国際芸術祭推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】					
事業の概要	文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けた瀬戸内国際芸術祭を、県、関係市町及び福武財団等とともに、3年毎に開催する。次回開催に向けた準備を行うとともに、芸術祭終了後、恒久的に残す作品について、維持管理及び運営を行う。				
	瀬戸内国際芸術祭開催準備負担金 女木小学校光熱水費 旅費				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型		ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民及び来場者
意図（どのような状態にしたいか）	文化芸術の振興により、本市の魅力を国内外に向けて発信するとともに、交流人口を増加させ地域の活性化につなげる。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
瀬戸内国際芸術祭開催日数	日	0	0	105	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	本市会場への年間来場者数	人	目標値	0	0	183,000	0	0
			実績値	0	0	153,429		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの来場者が大幅に減少したこともあり、会期中の来場者数は、前回の芸術祭と比べて6割程度に留まった。 （目標達成度） 	 （達成度） 83.8% 29点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	次回瀬戸内国際芸術祭の開催準備進捗率	%	目標値	30	60	100		
			実績値	30	60	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 実行委員会が取りまとめた取組方針や新型コロナウイルス感染症対策の指針などに基づき、瀬戸内国際芸術祭2022の準備を計画的に進め、実行することができた。 （目標達成度） 	 （達成度） 100.0% 35点						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	14,674	59,486	121,905	10,783
（事業費）	〔円〕	5,696	50,426	100,950	5,993
（職員人件費）	〔円〕	8,978	9,060	20,955	4,790

【評価】			
評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、感染症対策を講じながら開催することができた。今後も国内外の感染状況等を見極めながら準備を進め、次回の瀬戸内国際芸術祭を適切に開催することが課題である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
実行委員会、市内各島の関係者等と連携しながら、次回瀬戸内国際芸術祭の開催に向け取り組む。 次回芸術祭が2025年に開催されることから、同年に開催される「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」との相乗効果が図れる取組を実行委員会と共に検討していく。			

